



令和元年 7 月 11 日
国土交通省国土地理院
北海道地方測量部

北海道内で初めて「自然災害伝承碑」を地図で発信

— 北海道南西沖地震発生日に奥尻町の「自然災害伝承碑」を地理院地図で公開 —

北海道内で初めて、北海道南西沖地震の発生日（1993 年 7 月 12 日）に合わせて、奥尻町の「自然災害伝承碑※」をウェブ地図「地理院地図」で公開します。本取組を通じて、「災害への『備え』」を支援してまいります。

※自然災害伝承碑：過去に起きた津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害の情報を伝える石碑やモニュメント

- 国土地理院では本年 6 月 19 日に、全国で 48 市区町村 158 基の自然災害伝承碑をウェブ地図「地理院地図」で公開しました。
- 北海道南西沖地震の発生日（1993 年 7 月 12 日）に合わせて、道内で初めて、奥尻町の地震・津波被害に関する碑「時空翔」など 4 基の情報を地理院地図で 7 月 12 日 9 時（予定）から公開します。
今回の公開により、奥尻町の 4 基を含め、地理院地図で公開されている自然災害伝承碑は 61 市区町村 182 基になります。
- 北海道南西沖地震では奥尻町で地震・津波・火災により 198 名の尊い命が犠牲となりました。自然災害伝承碑をきっかけとして、災害について後世に伝えとともに、過去の教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指します。また、地図を通して、子供の頃から自分の住んでいる土地の成り立ちや災害特性の学習等、学校における防災・地理教育に寄与します。
- 本取組は市町村と連携して、北海道開発局等の協力を得つつ進めています。今後も市町村に対して自然災害伝承碑の情報提供を呼びかけ、連携して、情報を更新・公開します。



地理院地図における表示イメージ

概要	
碑名	時空翔
災害名	北海道南西沖地震 (1993年7月12日)
災害種別	地震・津波
建立年	1998
所在地	北海道奥尻郡奥尻町字青苗49
伝承内容	1993年7月12日午後10時17分に発生した北海道南西沖地震はマグニチュード7.8と日本海では観測史上最大級で、激しい地震の数分後に大津波が押し寄せた。奥尻町では地震・津波・火災により198名の尊い命が犠牲となった。碑の土台は押し寄せた津波と同じ高さまで盛土されている。

自然災害伝承碑の詳しい情報につきましては、以下のウェブサイトをご覧ください。
「自然災害伝承碑」の取組
<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>

【添付資料】

- 資料 1 今回公開する奥尻町の「自然災害伝承碑」
- 資料 2 「自然災害伝承碑」の地理院地図での表示方法と活用事例

（問い合わせ先）

〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 2 丁目 1 番 1 札幌第一合同庁舎 1 0 階
国土交通省国土地理院北海道地方測量部

測量課長 野口 真弓
部 長 山後 公二

TEL : 011(709)2311 (内) 4503
TEL : 011(709)2311 (内) 4500

今回公開する奥尻町の「自然災害伝承碑」

※各碑名の後の括弧書きは登録した災害種別を表す



①時空翔(地震・津波)



1993年7月12日午後10時17分に発生した北海道南西沖地震はマグニチュード7.8と日本海では観測史上最大級で、激しい地震の数分後に大津波が押し寄せた。奥尻町では地震・津波・火災により198名の尊い命が犠牲となった。碑の土台は押し寄せた津波と同じ高さまで盛土されている。

②慰霊碑(地震・津波)



③慰霊碑(土砂災害・地震)



④慰霊碑(地震・津波)



「自然災害伝承碑」の地理院地図での表示方法

情報リスト

検索: 写真/標高/災害

表示範囲に絞込み

トップ > 自然災害伝承碑

- 地震、台風・豪雨等
- 指定緊急避難場所
- 自然災害伝承碑**
- 南極の地理空間情報
- 地理院地図工具箱
- 他機能

すべて 解説

洪水 解説

土砂災害 解説

高潮 解説

地震 解説

津波 解説

火山災害 解説

その他 解説

クリック

「自然災害伝承碑」

画像をクリック

詳細説明は画像をクリック

地図上の自然災害伝承碑の記号をクリックすると、碑の写真や情報が表示されます。

地理院地図HP
(自然災害伝承碑を表示)

概要

碑名	特空所
災害名	北海道西南沖地震 (1993年7月12日)
災害種類	地震・津波
建立年	1998
所在地	北海道奥尻郡奥尻町青苗
伝承内容	1993年7月12日午後10時17分に発生した北海道西南沖地震はマグニチュード7.8と日本列島では観測史上最大級で、激しい地震の数分後に大津波が押し寄せた。奥尻町では地震・津波・火災により198名の命が犠牲となった。碑の土台は押し寄せた津波と同じ高さまで築かれている。

ID:01367-001

地理院地図機能の活用事例

高さ（標高）の確認

調べたい地点の高さを簡単に確認でき、津波対策の基礎情報として活用できます。

調べたい地点を画面の中心位置に移動

画面の中心位置の高さを表示

標高: 12.4m

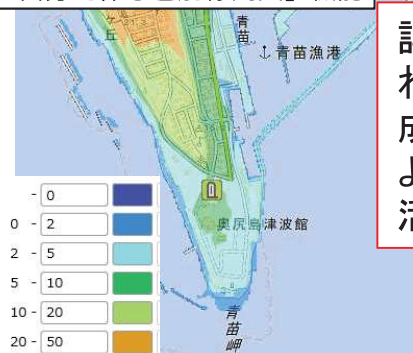
標高: 12.4m データソース: DEM80M(JASC)

奥尻島津波館

津波による危険性を把握

避難経路を確認

「自分で作る色別標高図」機能



詳細な高低差がわかる地図が作成でき、津波による危険把握に活用できます。

避難経路の高低差を調べることができ、経路として妥当かどうか確認できます。

「断面図」機能



操作手順: 「情報」

→ 「指定緊急避難場所」機能
→ 「断面図」

的確な防災行動、学校における防災・地理教育に貢献